

介護福祉学科 カリキュラムマップ

アドミッションポリシー(AP)

1. 本学園の建学の精神と「well-being」の追求に賛同する
2. 「ありがとう」の言葉を大切に人と向き合い社会貢献していきたいと考える
3. 医療・福祉への強い関心と資格取得への意欲と覚悟を持ちコミュニケーション能力を高めようと努力できる
4. 目の前の人に寄り添う「いちばんの存在」に向かって努力ができる
5. 「地域」の中で「何ができるか」を「じぶんと」として考えることができる介護福祉士をめざす

ディプロマ・ポリシー(DP)

福祉・医療の基礎知識および一般社会教育を身に付ける。また、精神的、社会的、人間関係のものを含む生活全体を支えられる人材を目指し、深い人間理解・生命の尊厳・幅広い社会性を養う。

介護福祉に必要な倫理・専門知識・技術を、実際に施設や地域の現場で活用し、総合的に利用者の日常生活援助ができる能力を養い、さらに自己の介護福祉観を考える。

カリキュラム・ポリシー(CP)

1. 人間の尊厳と自立を尊重し、権利擁護の観点から、生活の質を向上させるための支援を行う。
2. 人間関係の形成やコミュニケーション能力を養い、チームで働くための基礎知識を身に付ける。
3. 対象者の生活や地域を支援する観点から、生活の質を向上させるための支援を行う。
4. 介護実践に必要な知識・技能を身に付け、実践を支える能力を養う。
5. 介護実践を支える能力を養い、豊かな人間性を身に付ける。

1. 介護福祉士に求められる役割と機能を理解し、専門職としての態度を養う。
2. 介護を実践する対象者、場、場に必要な知識・技術を習得する。
3. 本人、家族等との関係性を構築するための基礎知識・技術を習得する。
4. 対象となる人の能力を引き出し、本人主体の生活を地域で展開するための能力を養う。
5. 介護実践における安全な知識・技術を習得する。
6. 各領域で学んだ知識と技術を必要に応じて活用する。

1. 介護実践に必要な根拠となる、心身の構造や機能及び発達段階とその課題について理解し、対象者の生活を支援するという観点から、身体的・心理的・社会的側面を統合的に捉えるための知識を身に付ける。
 2. 認知症や障害のある人の生活を支援するという観点から、医療職と連携し支援を行うための心身の機能及び関連する障害や疾病の基礎的な知識を身に付ける。
 3. 認知症や障害のある人の心身の機能が生活に及ぼす影響について理解し、本人と家族が地域で自立した生活を継続するために必要とされる心理・社会的な支援について基礎的な知識を身に付ける。
- 医療的ケアが必要な人を安全に生活させるための連携の重要性を学ぶ。医療的ケアの連携の重要性を学ぶ。

区分	指定科目	第1学年		第2学年	
		前期	後期	前期	後期
人間と社会	人間の理解	人間の尊厳と自立 人間関係とコミュニケーション(基礎)		人間関係とコミュニケーション(応用マネジメント)	
	社会の理解	社会の理解 I			
	選択科目	実践手話技能 福祉住環境 PC・タブレット活用技術(介護福祉編) 健康プロモEX			

区分	指定科目	第1学年		第2学年		
		前期	後期	前期	後期	
介護	介護の基本	介護の基本(介護概論) 介護の基本II(自立支援)		介護の基本II(連携・協働)		
	コミュニケーション	コミュニケーション技術				
	生活支援技術	生活支援技術 I(基礎・理論A) 生活支援技術 II(基礎・実践A)		生活支援技術 IV(基礎・実践B)		
		生活支援技術 III(基礎・理論B) 生活支援技術 IV(基礎・実践B)		生活支援技術 III(基礎・理論)		
		介護過程	介護過程 I(基礎)		介護過程 II(実践・応用)	
		介護総合演習	介護総合演習 I		介護総合演習 II	
介護実習	介護実習 I-1 介護実習 I-2		介護実習 I-3	介護実習 II		

区分	指定科目	第1学年		第2学年	
		前期	後期	前期	後期
こころとからだのしくみ	発達と老化の理解			発達と老化の理解	
	認知症の理解	認知症の理解 I(基礎)		認知症の理解 II(専門)	
	障害の理解	障害の理解 I(基礎・専門A)		障害の理解 II(専門B)	
	こころとからだのしくみ	こころとからだのしくみ I(一般基礎) こころとからだのしくみ II(形態別基礎)			
医療的ケア	医療的ケア	医療的ケア I(基礎)		医療的ケア II(演習)	

・介護福祉士取得(卒業時)
・目の前の人に寄り添う一歩の存在になる
・心身の状況に応じた介護や指導ができる

卒業時取得資格
※は受験必要
健康プロモEX指導員
※福祉住環境コーディネーター

目指す介護福祉士像

1. 尊厳を支えるケアを実践する
2. 専門職として自立的に介護過程の展開ができる
3. 身体的な支援だけでなく、心理的・社会的支援も展開できる
4. 介護ニーズの複雑化・多様化・高度化に対応し、本人や家族等のエンパワメントを重視した支援ができる
5. QOL(生活の質)の維持・向上の視点を持って、介護予防からリハビリテーション、看取りまで、対象者の状態の変化に対応できる
6. 地域の中で、施設・在宅にかかわらず、本人が望む生活を支えることができる
7. 関連領域の基本的なことを理解し、多職種協働によるチームケアを実践する
8. 本人や家族、チームに対するコミュニケーションや、的確な記録・記述ができる
9. 制度を理解しつつ、地域や社会のニーズに対応できる
10. 介護職の中で中核的な役割を担う高い倫理性の保持

公益社団法人 日本介護福祉士会入会各都道府県介護福祉士会同時入会
介護福祉士実習指導者講習会

認定特定行為業務従事者の研修(実地研修受講)
認定特定行為業務従事者の研修(基本研修受講)

認定介護福祉士